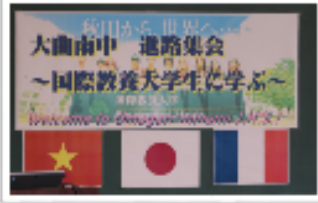




朝風

平成30年度
学校報 12月号②
大仙市立
大曲南中学校

(国際+キャリア)教育=国際教養大生のお話



○南中の学校教育目標「自立 対話 貢献 ~広い視野をもち 互いを認め合い 地域から行動する生徒の育成~」は、ESDの指針である“Think Globally Act Locally”（広い視野で考え、足元から行動せよ!）を意識したものです。そして、これは県教委で示している「グローバル社会で活躍できる人材の育成」や市教委で打ち出している「地域の活性化に寄与できる子どもの育成」とも重なります。

○その目標に向けて、本校ではいろいろな学習活動を行っています。12月は、3名の国際教養大生に南中においでいただき、視野がググ〜んと広がるお話やポジティブな生き方についてのお話を伺いました。

アンさん (from ベトナム)
「私は20才で、まだやりたいことはハッキリとはしていないけど、やりたいことはたくさんある。恵まれない人のための活動とか、好きなアニメ関係の仕事とか…。ここ（教養大）はそうした私の願い事をかなえてくれる所。」 *教養大 Love が伝わります。

ジュリーさん (from フランス)
「観光都市、アビニヨンの出身で、スキーの先生です。（*生徒はへえ〜）東京は大きくてストレスが多い。秋田はリラックスできる街。私は自然が大好き！国際的な問題を勉強しているのが好き。大学の先生はフレンドリー。専攻は政治学！」

市川さん (from 愛知県)
「小5の時にAIUに入ることを決めた。調べてみたら留学もできる！これも魅力だと思った。東京みたいに誘惑が少なく勉強に専念できる。いろんな留学生と話すこと、たくさん旅行すること、いろんな人と仲良くなるのが今の目標。」

- Q 将来のことを決めるのが難しい。何かアドバイスをお願いします。（2年男子が英語で質問）
- A 試してみて、何でも。それがうまくいったら、それが得意なこと、好きなことになる。（答えも英語）
- A まだ若い。夢は変わっていく。いろんなことに挑戦してみてください。オープンマインドも大切。嫌いでもちょっとやってみよう、嫌いでも話してみようとか…。（答えも英語）
- A 単純にAIUに入りたかった。将来なりたいものがなくて、それでAIUを選んだ。でも、学んでいるうちに見つかった。焦らないこと。何にでも挑戦できる頃なのだから。（答えは日本語と英語）



3年生や2年生は、（英語でのアンサーなのに）ウンウンとうなずいたり、ほーっと感心したりして聞いていました。反応が自然でびっくりです。そして、一生懸命に聞こうとする雰囲気が集会室にありました。エスコート役担当の3年の橋本さんと伊藤さんは、3名の方に英語で積極的に話しかけていました。スカイプによるオーストラリアの中学生との交流から中2日。何か感じるものがあつたかもしれません。橋本さんのこの一言が印象的でした。「どうせなら、黙っているよりも話した方がいいじゃないですか！」 Good!

「TVや聞いたことをそのまま信じるのではなく、自然に触れたり、体験したいことが重要だと思いました。たくさんの体験をして夢を探したいです。」（3年 平川さん）

「AIUの人が言ったとおり、今のうちにいろいろな体験をして、自分のしたいこと、やりたい職業を後悔しないように探したいです。」（2年 鎌田さん）

「何事にもチャレンジすることが大切だと思いました。苦手だからやらないではなく、少し挑戦し、たくさんの事をして視野を広げていきたいです。」（2年 塩寺さん）